

Campus どんぐり

酒害者のためのアルコールリハビリ施設

施設全景



アルコール・リハビリホーム (ARH)

アルコール依存症者が、地域社会で共同生活を送りながら、自立回復を目指すグループホームです。

- 定員：17名
- 対象者：酒害者（アルコール依存症者）男性
共同生活援助の支給決定を受けた方
- 費用：家賃 1ヶ月 35,000～37,000円
光熱水費 1ヶ月 7,000円～10,000円
居室3タイプ
- ：管理費 3,000円
- ：食費 1日 1,200円
- ：金銭 自己管理



◇ 利用者の体験記より

2年半前不安な気持ちを抱きながら、アルコール・リハビリ・ホーム (campus どんぐり) へ入所した。入所前は連続飲酒になり、毎日ボトル1本ぐらいを40日間飲み続けていた。歩けなくなり、しゃべれなくなり、孤立した状態で、最後の力を振り絞り救急車で病院へ運ばれた。アルコールによる小脳萎縮、パーキンソン病と診断された。仕事々とあせっても、対人関係がうまくいかず失敗してきた。もう15,6回目の入院だった。見舞いに来た仲間へ「酒は恐ろしい」と筆談しかできなかった。今は「どんぐり」でうつ病と糖尿病とつきあいながら、断酒を続けている。離れている家族とも話が通じるようになり、社会復帰へ向けて励んでいる。

小規模地域活動センター AR作業所「どんぐり」

回復途上にある酒害者が、社会復帰するために集団生活と共同作業などをしながら、同じ悩みを持つもの同士が互いに協力し合い、学ぶことが出来る場です。また家族からのご相談にも随時応じます。

- ◆ 対象：酒害者(アルコール依存症者)男女問わず
- ◆ 費用：無料(昼食・交通費は自己負担)

◆ 主な指導項目

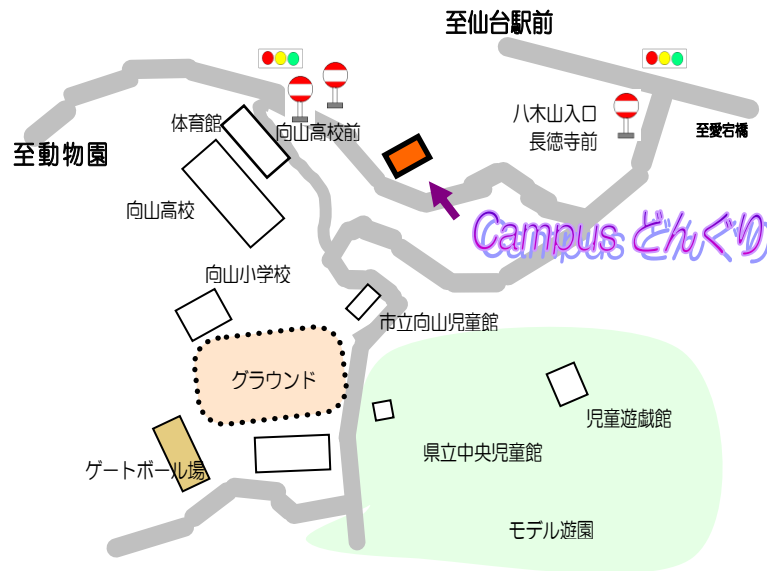
断酒回復	断酒に必要な事柄を身に付ける
自立生活支援	自分にあった生活リズムを確立する
社会復帰支援	独立に向けホーム外に出て今後の生活の場を模索する
地域交流支援	Campus どんぐりの活動の理解を深める
ミーティング	健康状態・行動予定の把握、プログラムの作成

◆ パソコン教室

	9:30	
	10:00	
	5	-
	12:00	
	13:00	
	5	
	16:00	
	9:30	
	5	
	16:00	

◆ プログラム内容

研修会、パソコン教室、パッケージ作業、ゲートボール、小・大行軍、卓球大会、ショッピング、夏祭り、釣り大会、いも煮会、施設見学等



アルコール・リハビリホーム (ARH)
AR作業所「どんぐり」
〒982-0841 仙台市太白区向山 2-12-3
Tel022-267-6276 Fax 022-399-6026
メール: ardonguri@yahoo.co.jp